

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	個人個人のADLは把握しておりますが、運動面なので、個別のプログラムがないので個人の能力に応じたプログラムを作る。	半年以内に個別のプログラムを作成して実行に移す。ただし、職員目線にならないように、入居者様も楽しめるメニューを考える。	ユニットリーダーを中心に居室担当が個人個人の望みなどの実現に向けて入居者様の声を聞きプログラムを作成する。	6ヶ月
2	40	先日の運営推進会議でも提案がご家族様よりありました。高齢者は「食事」しか楽しみが無いのでたまにはお弁当をとったりしてほしい。	月1回はタイヘイのメニューを中止して職員独自に入居者様と職員と一緒に楽しめるメニューを提案する。	鉄板を利用して、毎月お好み焼き・たこ焼き・ホットケーキ等を行う。(鉄板担当を中心に)また、外食の機会も2ヶ月に1回は行なう。	3ヶ月
3	2	地域とのつきあいを強くする。	自治会の住民の方々を施設にお呼びして一緒にお祭りを楽しむ。	納涼祭等にご案内文を作り、無料券等を作り、住民の方々にも施設の中に入って頂き、散歩の途中で寄れるような絆を作る。	8ヶ月
4	17	支援の見極めと入居者様が楽しめるプランを作る。	アセスメントの時点で、知り得た趣味などの継続をプランに入れる。	ケアマネのモニタリング情報を居室担当と計画作成者が共同で会議を行い、出来る限り「趣味」等の継続ができないか会議を行う。	6ヶ月
5	26	チームのメンバーを増やし、担当者会議をより良い充実した会議にする。	担当者会議に必ず、ご家族、ご本人に同席してもらうようにする。	担当者会議を開催する旨をご家族に連絡し、出席できないようでしたら、ご家族の希望を必ずお聞きして、会議には必ずご本人様も同席して頂く雰囲気を作る。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。